

Title: 「サムライ旅行記」



細野 正彦
サッカー選手→釣り人→小説家→哲学者
→ときて、現在写真家になりたいと思っている細野と申します。ラグビーの選手にもなりました。

● 最近のエントリー

- 📅 [バンコクって。](#)
(2006.04.30)
- 📅 [写真ってすごいね。やっば。](#)
(2006.04.22)
- 📅 [空を斬る。](#)
(2006.04.14)
- 📅 [視線。](#)
(2006.04.06)

● アーカイブ

- 📅 [2007年09月](#)
- 📅 [2007年08月](#)
- 📅 [2007年04月](#)
- 📅 [2007年03月](#)
- 📅 [2007年01月](#)
- 📅 [2006年12月](#)
- 📅 [2006年11月](#)
- 📅 [2006年10月](#)
- 📅 [2006年09月](#)
- 📅 [2006年08月](#)
- 📅 [2006年07月](#)
- 📅 [2006年06月](#)
- 📅 [2006年05月](#)
- 📅 [2006年04月](#)
- 📅 [2006年03月](#)

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

[サムライ旅行記](#) > 2006年04月 アーカイブ

06.04.30

| **バンコクって。**

スタバでお茶して、紀伊国屋で日本の雑誌買って、帰りにマックをテイクアウトして、近くのセブンでお菓子買って。明日はサンジェルマンのパンでも。東急にも行かなくっちゃ。今から元気寿司にでも行こうかしら。そんなバンコクです。

カテゴリ:

post by 細野 正彦 | 日時: 2006.04.30 | [パーマリンク](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[サムライ旅行記](#) > 2006年04月 アーカイブ

06.04.22

| **写真ってすごいね。やっば。**

カンボジアにいます。
キリングフィールドIに行っって、トゥール・スレン博物館行って夜にみんなで映画「キリングフィールド」を見て。なんかすごくずしりな感じです



トゥールスレン博物館はもともとポルポト時代の刑務所でした。実際に多くの人がこの場所で拷問に遭い死んでいきました。手を加えられず当時のままで残るその建物、部屋、くさり。胃の中のものがでてきそうな感じに襲われました。

写真がありました。ここで殺された人々の肖像写真がずらり。数え切れない肖像写真。ただの記録のため、撮られた写真が歴史や時間を身にまといとてつもない力をもって私の前にいました。多くの視線が私を見つめていました。まいったねこりゃ





なんか平和な国に生まれたことを少し恥ずかしいか思ったこととかあったり、ほかですよ
ね。やっぱり平和っていいよね。
船の移動は楽しかったです。座礁とか



アンコール遺跡群を見ました。いろいろ見てぐったり。すごいです。子供が日本語を使って
物を売ってくるんだから。「ごめん買わないよ」と日本語で言うと「ごめんてなに？わからない
」と返された。うまい返しです。遺跡の感想は難しいです。でもとりあえず威風堂々な
姿で自然と絡み合う遺跡には圧倒されました。

カテゴリ：

post by 紺野 正瑛 | 日時: 2006.04.22 | [パーマリンク](#) | [コメント \(2\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

サムライ旅行記 > 2006年04月 アーカイブ

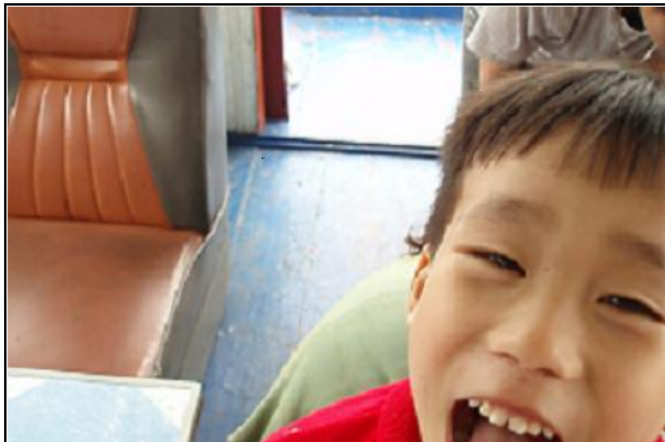
06.04.14

空を斬る。

旅は順調に進んでいます。焼き付けられたフィルムはなかなかの数になりました。しかし何か自分は自分自身の頭の中の絵を追いすぎてちゃんとこのベトナムという国、場所を捉えているかという不安があります。どうしたものだろう？”まあ書いてみたところで自分で解決するしかないのはわかっていますが”

それはさておきハロン湾とニャチャンに私は行って来ました。

ハロン湾では一緒に船に乗ったベトナム人一家と共に蟹と海老で宴会をしました。ただぼーとしていた私を食事に誘ってくれたことに感謝。言葉は通じなかったけど楽しかったです。私のベコベコおじぎがおもしろいみたいで爆笑を誘っていました。





ニャチャンでは一日中やしの木の下でぼーっとしていました。写真を仕事にしているおじさん。日本のことをやたらと知りたがったおじさん。一人で旅をしているベトナム少年。一緒にやしの木の下で休み仲良くなったのに、一枚も写真を撮らせてくれなかったマリファナをやっていた少年たち。なんか多くの人たちとしゃべったなー。そんなニャチャンでした。



思った事。

今ホーチミンにいます。ホーチミンにはベトナム戦争の資料博物館があります。ある日本のガイドブックの紹介で「平和ボケした日本人は博物館を見たほうがいい」と書いてありました。よく使われる平和ボケという言葉。何か心に引っかかりました。平和ボケ。歴史を知ることが大切な事で、悲しいかな戦争の歴史の上に今の私たちは立っていて今も戦争は起こっていて。それに対する意識が薄くなってこなのだろうけど、自分たちを平和ボケって簡単に書いてしまうことに少し引っかかりました。平和っていいよね。甘っちょろい意見ですが。

カテゴリ:

post by 紺野 正瑛 | 日時: 2006.04.14 | [パーマリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[サムライ旅行記](#) > 2006年04月 アーカイブ

06.04.06

視線。

ハノイに入って3日目の夜。私は自分がすごい所に生まれて育ったのだと強く感じています。日本という国が良いも悪いも進んでいるのだと感じています。たとえば牛を牛肉にして、口に入るまでの流れが路上で行われていました。気持ち悪さもありましたが、こういうものなのだと思いを食べているのだと感じられました。まあ良かった。

ベトナムの人々の視線が気になります。日本では見たことのない視線をレンズ越しに感じています。

冷たいのとは違うなんというか生ぬるい視線。戸惑っています。経験してないわー。まあいい。

カテゴリ:

post by 紺野 正瑛 | 日時: 2006.04.06 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[サムライ旅行記](#) > 2006年04月 アーカイブ

06.04.02

刀（カメラ）と太極拳

今日は五十嵐先生ととくとゆうはんとで朝から太極拳の取材に出かけました。

公園で多くの人が太極拳をやっているというので出かけたのですが、なんと日曜日はみんなドライブだと公園にいたおじさんが教えてくれました。

凹んでいると刀を持ったおじさんが太極拳の練習をしているではありませんか。先生が撮影をさせてくれと頼むとこれから多くの人たちがここで太極拳をするというのです。少し待っていると刀を持った人達がぞろぞろ。そこからは撮影大会みたいな感じになりました。

太極拳をしている人達は私たちに気にもせず、すばらしい動き。なめらかな動きにはすきはなく、見ていて緊張してしまうくらい。侍と自ら言っている私ですが完敗でした。





PS. 旅は楽しく進んでおりますうらやましいでしょうが、ひがまずに。

カテゴリ:

post by 紺野 正瑛 | 日時: 2006.04.02 | [パーマリンク](#) | [コメント\(3\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

サムライ旅行記 > 2006年04月 アーカイブ

06.04.01

原発と公園と

人々が泳ぐ海岸の横に原子力発電所があった。この海岸は有名リゾート海岸である。発電所の建物は、中がどうなっているのかさえわかるくらい近くまで行くことができた。発電所の中を通る川が海に流れ、その波でサーフィンをしている人たち。異様な光景だった。



台北は街だった。よく日本式という文字を見かけた。公園の撮影は順調である。子供たちがサッカーをやっていた。ボールが転がってきたので見せ場だと思い、リフティングでもして返してやろうかと思ったのに子供がダッシュで私の足直前でパスカット。くやしかった。バスは前に出て受けるものだとかわったことを思い出した。



観光です。





カテゴリ:

post by 紺野 正瑛 | 日時: 2006.04.01 | [パーマリンク](#) | [コメント\(1\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)